



1 ページと同一個体。

県下では「ひれあか」と呼ばれ，全国的には「きびれ」の別称があります．腹鰭と臀鰭の鮮やかな黄色が特徴的です．尾鰭の下端も彩色されます．キチヌはヘダイ亜科に属し，鱗が大きいのが特徴です．中央付近の背鰭棘の付け根から側線までの間に3.5枚の鱗があります．標準体長で45cmになるとされており，今回の魚はほぼ最大級です．

内湾性で，底質中の棘皮動物，貝類，甲殻類，多毛類を餌とします．雌雄同体期を経た後，雌になることでも有名です．刺し身，塩焼き，煮付けで美味とされています．



2003年9月9日瀬産の全長約15cmの個体。

2005年1月19日発行 発行者：町田吉彦（理学博士，高知大学理学部教授，
四国自然史科学研究センターセンター長）

本書の内容の無断複製を禁止します．複製ならびに内容についての問い合わせは FAX 088-844-8310（町田研究室直通）でお願いします．